

銀色の道

「智」と「心」

塾長 山田勝登

Vol. 21 のトピックス

★教室便り

★42.195.キ。考

★四方山話

★編集後記

2月もあとわずか、春はもうそこまで来ているような今日この頃です。中学生は期末テストの真っ最中。3 月第 1 週目の鶯谷中学で終了します。高校&大学入試がまだまだ残っています。今週は大学の前期試験。塾としては気が抜けない日が続きます。

さて、今年から NHK の大河ドラマは「花燃ゆ」。主役は、私が師と仰ぎ、尊敬する、「吉田松陰先生」…ではなくその妹が主役のドラマです。見たいと思いながら、大阪・東京出張などで、2回しか見れてません。う～む。

「至誠而不動者未之有也」

至誠にして動かざるものは、未だこれあらざるなり。
これは松陰先生が引用して有名になった孟子の言葉です。

「誠意を尽くして事にあたれば、人の心



を動かさないことはない。」という意味です。さらに孟子は性善説に基づいているので「人の心を動かさない事があるのであれば、それは誠の心を尽くしてないからである」とも言えましょう。

どんな状況でも自分の信念を曲げずに真っすぐ誠実に生きた、先生が好んだ言葉です。

塾を開いて以来、私の思いが変わったことは2回あります。最初は松陰先生に興味を持って調べ松下村塾へ行ったときと、3年前に知覧へ行ったときです。

4年前のGWには萩の松下村塾へ行きました。実際にその地に立つと違います。

萩には「明倫館」という上級武士の子弟、いわゆるエリートが通う立派な藩校がありながら、明治維新の立役者となった者、そして維新後、首相、国務大臣を務めたのは、すべてあの小さな松下村塾の塾生だったという事実。それはなぜか？ 大河ドラマで松陰先生の生き方を知ればきっとわかるでしょう。

「至誠」…私の大好きな言葉です。それでは「銀道 vol.21」の発進です。

◆教室便り◆

七夕大賞

毎年恒例の七夕大賞です。6月下旬から、教室に七夕の笹に吊る短冊を皆に書いてもらいました。



昨年までは教室で一、二、三席を決めていましたが、今年は両教室一緒にして小学生、中学生、高校生部門の3つに分けました。コーチたちの厳正なる審査の結果(?)はい、発表です！

小学生部門

一席 岐阜小5年 A. Yさん

「ずっと笑っていられますように」

笑う門には福来る、といえますよね。笑顔でいる子は周りの皆にも好かれます。笑顔が笑顔呼びます。笑顔は人に元気を与えます。そして周りが明るくなります。これからもずっとそうしてくださいね。恵佳さんの笑顔、すてきですよ！

二席 聖徳学園小6年 S. Kさん

「運がある人になれますように」

はい、運がある人…それは一生懸命努力をする人だと思います。お天道様は良く見ています。頑張る人には運を与えるんです。棚からボタ餅なんてことは、めったにあることではありません。そういう意味で、沙也香さんは運がある人になる資格は十分ですね。これからも頑張ってください！応援します。

三席 岐阜小学校4年 S. Y君

「おなかいっぱい大副を食べたい」

載せるかどうか迷ったんですが、票が入っていたので仕方なく・・・しかしコーチの皆さん、彼のキャラとドンピシャということを入れたんでしょうか？

う～む、漢字…「副」→「福」ですね。

ひもじい思いをしているとは、決して思えないのですが。親の顔が見てみたいものです?・・・は、鏡を見ろって？

中学部門

一席 東長良中3年 Y. Y君

「バドミントン(個人) 県大会に出場できますように」

正統派です、直球でズバッとききました。

毎年思います。3年生には一日でも長く、1試合でも多く戦ってほしいと。私の中学時代の部活は1回戦敗退。それも負けるはずのないと思っていた相手に・・・。

帰宅後、悔しくて悔しくて学校に行かずに

布団をかぶっていたのを、今でもはっきり覚えています。

悠貴君、残念ながら願いはかないませんでした。見事地区大会に出場しましたね！

二席 東長良中1年 S.Y 君

「やると決めたことはやりきる人間になりたい」

これまた直球でど真ん中に来ましたね。そう思っている人は多いと思います。それがやれる方法の一つに、目で見えるようにする、ということがあります。やると決めたことを書いて、机の前に貼りだすのです。これをアフメーション効果といいます。実行すると8%増の効果が見込めるそうです。科学的根拠があるそうです。ぜひおためしあれ。

三席 中央中2年 長屋秀明君

「世界征服」

来ましたね～切れ味鋭い変化球？これはもう落差の大きなフォークかナックルボールです。コーチたちに受けました。私の中学時代ならば、これを狙っていたのは仮面ライダーの「ショッカー」か、ガッチャマンの「秘密結社ギャラクター」あたりでした。今の時代はMr.Hideaki。武器はいったいなんでしょう？

その心意気で、勉強に部活に頑張ってください。期待してます！

高校部門

一席 岐阜高校3年 T.Y 君

「好きな女性ができますように」

いや～青春ですね。こういうのって大好きです。あ、誤解のないように。今の私がこれをやってしまうと、1時間の正座&お説教ですかね（それで済めばいいって？）

7月時点と、今の時点で変化はあったのでしょうか？今は入試前まずは、志望大学を突破せよ！

二席 岐阜高校3年 K.H 君

「ありのままの自分を出したい」

これはもうLet it go、「アナ雪」に乗りましたね。中高生よろしいですか。5月の講演会で岡山の島村先生に「let it be」との違いを解説してもらいましたが、結構だしてると思うんですが覚えてますか？原君、結構出てると思うんですが、本人的に、出し足りない部分があるのでしょうか？

三席 岐阜北高校2年 A.H 君

「今年の夏こそ」

いいことがありますように」

もしかして、あっちゃん、これって♡ですか？聞いてないのですが、結果はどうだったのでしょうか？夏ひらく青春。そして晩秋にぼしゃって、暗く長い冬が来る……。そして春に復か〜つ。

番外編 コーチ部門

一席 河合コーチ

「今年中に身長を 10 cm伸ばし
西田コーチを超える」

う～ん、二人ともバスケ部なんですよ～ね…。
どちらが先に170cmに届くのでしょうか？
あまり深くコメントしないようにしまし
よう。牛乳・イワシ・ハウレンソウ！？

二席 山下コーチ

「平凡な幸せがほしい！」(最近思うのですが、
なにげなく普通に生活できることがいちばん幸せなん
だと思います)

確かにそうだと思います。しかし、ちと
意外だったです。人は幸せに気付かずに暮
らしているのかもしれませんが。何気ない毎
日に感謝しましょ！

でもね・・・山あり谷ありのジェットコー
スターのような時代を駆け抜けたあとに、
その境地に達するのもいいかな。

三席 鈴木コーチ

「誰か私の単位を知りませんか？」

1回生のしょっぱなで、こうきましたか。
ちと、心配です。

大学に入学して初めての夏休み、帰省途中
高松から5時間、ローカル列車にゆられな
がら、同じ思いでいた自分を思い出します。
親に迷惑をかけずに4年で卒業できれば
いいんです。がんばろーね！

ということで、また来年の7月まで！

ボーリング大会

9月27日、第8回ボーリング大会を開催
しました。

昨年はスぺア賞の「くまモン」のトイレッ
トペーパーが好評だったので、今年もキャ
ラクターグッズを、と探していたら、あり
ました。ストライク賞には「アナと雪の女
王」のティッシュを用意しました。やっぱり
好評でしたね。



大会前にマーサボールに並べられた賞品



さて、熱戦が繰り広げられた大会の結果は？

BB賞

中1 S.H君&K.F君ペア

賞品 愛媛ミカンジュース



2位

小4 H.S君&S.Y君

賞品 山田農園直送ミカン1箱



栄えある優勝は

小6 K.Sさん&お母さんペア

賞品US Jバス旅行ペア招待



S家が1，2フィニッシュしましたね。おめでとうございます。しかし…長兄の中3T君、何もなく残念そうでした。

さてさて…実は優勝者は他にいたのです。それは、はい、私と事務長ペア。

これまで8大会中、3回夫婦で参加しましたが、その都度優勝してしまい、辞退しているんです。

結婚前はよくボーリングに行きましたが、この8年間でボーリングをしたのは、この大会だけです。3回だけ。

さあ、宣言しておきます。来年度の第9回大会も我々はペアで出ます。

塾長&事務長ペアを負かしてやる！

という諸君の挑戦をぜひ待っています。

かかってきなさい！

稲刈り

6月8日に植えた稲穂が、黄金色に実り、秋風にその稲穂を揺らす10月11日（土）稲刈りに行きました。

青空の下、汗をかいての稲刈りとなりました。田植えのことを考えると、結構時間がかかるのではないかと考えていましたが、なんと1時間弱で終えてしまいました。あっという間でしたね。

常盤農協の指導員の方々、田んぼの持ち主の竹村さん、本当にありがとうございました。



このお米で12月には「おはぎ作り」をしました。

坐禅研修

小6生中心の日帰りと、中3生中心の1泊での研修会です。坐禅というより、「禅研修」と言い換えた方がいいかもしれませんね。

全員に体験してほしいくて、昨年より小6時と中3時に原則全員参加のイベントとしました。

坐禅を組むことだけなら近くのお寺でもできます。これは廊下を歩くこと、食事をとること、風呂に入ることなど全てに作法があり、坐禅はその一部なのです。入山してから、下山するまでの時間全部が研修です。

なんでもそうですが、もしかするとその時には分からないかもしれません。しかし潜在意識に残ったものは、必ずどこかで顔を出します。あとになって、「あ、そうだったんだ」とか「京都で坐禅に行った時の和尚の話はこういうことだったんだ」とか絶対に生きてくると私は確信をしています。



法堂(坐禅を組むお堂)の前にて叉手当胸





齋座（昼食）の前に短いお経を読む



研修終了後 下山



中3組 入山！

日帰りコースの下山前の感想です。

「写経が長かったけど、最後まで書くことが出来てうれしかった」

「いつもの暮らしが幸せだということがわかった。」

「毎日の生活にありがたみを感じた。またきてもいいかな、と思った」

「坐禅、写経などをやって、集中することが大切だと思ったし、集中力がついたと思う」

「落ち葉の掃除をして、綺麗になって気持ちよかった」

以上5人の感想です。



一泊研修はフルコース 法話もあります



早朝5時半 張りつめた空気の中での坐禅

一泊研修 下山前の感想

「法話が印象的でした。家族のこととか、受験のこととか、和尚さんの実体験の話はすごく良かったです」

「思ったよりご飯が美味しかった。梅干しを初めて食べました」

「始めて坐禅を組みました。一番難しい組み方は出来なかったけど、それでも15分で足がしびれました。今まで経験したことがないことの連続で、来て良かったです。」

「ご飯のときとかの作法とか、ありがたみとか学べて良かったです。法話でも今の生活のありがたみを感じました。和尚さんの実体験の話は、これからの生活に活かしていきたい」

「坐禅といかいろいろな体験を通して、心を落ち着かせるということを学びました。あがったり緊張したときとか、落ち着いてやる方法を万べました。様々なものに対してのありがたみ、感謝と言うことの大切さも学びました。とても良かったです」

「加藤和尚の法話で、有難うという漢字の意味や感謝することの大切さの話には感動しました。これから人にもっと感謝していこうと思う。今回の研修は来て良かったです。」

参加してくれたみんなありがとう！

このイベントは学志舎が存在する限り必ず続けていきます。該当学年でない方も、是非参加してみてください。必ず何か発見がありますよ。

そうそう余談ですが、1月4日の同窓会でW大学のTさんと話をしました。

彼女は第1回目の参加者なんです。高3の時でした。法話では彼女が高3生と言うことで、当時の荒木和尚が受験生向けの話をしてくれました。和尚の法話は、実体験が多いんですよね。



2010. 10. 24 荒木和尚の法話

彼女は緊張しやすい、つまりあがり症だったのです。入試の時、ふと朝一番、法堂でのローソク1本だけの灯りの中での坐禅の場面と、荒木和尚の話を思い出したそうです。そして、椅子に座ったまま目を半眼にして、姿勢を正し（調身）、呼吸を整え（調息）膝の上で両手を合わせ（法界定印）しました。しばらくすると、頭の中はカラッぽになり、す〜っと気持ちが落ち着いていったそうです。（調心）まさに、足を組んでないだけで「坐禅」そのものではないですか。

話を聞いていて嬉しくなりましたね。

これまで参加してくれた生徒の皆さん、ぜひ実行してみてください。

また、坐禅から帰ってすぐにお母さんから事務長にメールがありました。

「研修前にお話ししましたように、このところ娘とはほとんど会話ができない状態だったのですが、帰ってきたときの娘の表情が全く違っていました。笑顔で話しかけてくれました。京都での坐禅合宿で何か感じるものがあったのでしょうか。誘っていただきまして、本当にありがとうございました。」
こんなこともあったんです。

保護者懇談会

日時が前後しましたが、10月には懇談会を開催しました。今回も9割を超える参加率でした。いつも多くの方に参加していただき感謝申し上げます。

今回は9月の「鈴木稔先生」の講演会の後だったので結構感想を述べてくれる親さんが多かったですね。
いきなり小学生のお母さんから

「うちの子供にとっては残念な結果となりました」
何か悪いことがあったのだろうか？

「あの日から別々に寝るようになりました。これまでもそうしないといけないとは思っていたんですけどね…。」

多かったのは「子供がよく手伝ってくれるようになりました」という感想でした。元気で楽しいお母さんになってもらうべく、生徒たちは鈴木稔先生の話を実践し

くれたんですね。今回の公演は今まで以上に好評でした。

さて、今回の目玉は、私が勉強会（主催・別の鈴木先生）で聞いてきた「長所ノート」でした。コーチングでもそうですが、子供の教育の原点は「褒める」、「認める」、ということです。その威力を学んできました。良いことは即実践です。

その後生徒からで「壁に家族のいいことを書いた紙が貼ってある」とか「長所ノートの長所の数が増えてくるのがうれしい」との声を聞きます。

鈴木先生（勉強会主催の）の話によると、セミナーとか講演会に参加して、いいなと思ったことを即実践に移せる人は約20%。さらにそれを継続できる人はその中の20%だそうです。つまり100人中4人。その4人が「勝ち組」に入る人だそうです。

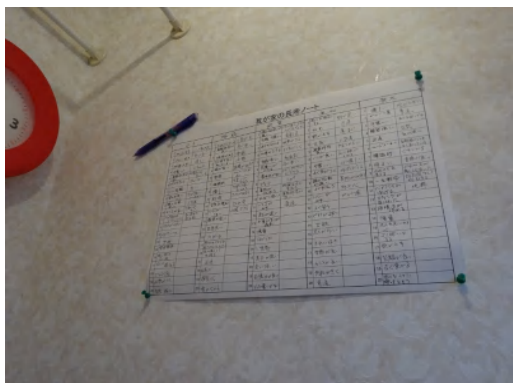
なんかうなずけますね。「実行・継続」できる者が成功するって。

皆さんに約束したように、私が40全部書き終えたときには公開します。

現在自宅の2階のトイレの座って右側の壁、約1.5mの位置に貼っています。トイレに座るたびに一つずつ書くようにしています。

すでに3回長女に指摘されました。

「お父さん、同じことを書いている」
ホワイトで消しては新たに違うことを書いています。便座に座って考えるのですが、なかなか出ないこともあります。（もちろん長所ですよ！笑）そんな時は昔のことを思い



出して書くときもあります。
しかし、なんか情けない気持ちになりますね。親として自分の子供いいところを、サクッと書けないなんて。とにかく最後まで絶対に埋め尽くします。でもこれは本当にいいツールだと思っています。鈴木先生、教えてくれてありがとうございます！
＊鈴木稔先生の講演録添付します。記憶を新たにしていただけたらと思います。

リレーマラソン

私はこれが大好きで、もうワクワクします。参加した人はわかるでしょう？あのお祭り騒ぎの雰囲気、楽しさ。

リレーマラソンは 42.195 km、すなわち1周2kmのコースを21周と195mを、1チーム4～10人でタスキリレーするものです。チーム内でメンバーが走る距離は自由です。

今年はついに念願の3チームで参加できました。それは「生徒・保護者チーム」「高校3年生チーム」「コーチチーム」。天気も良くて、風も強くなくマラソン日和でした。2張りのテントにオムスビ100個、

菓子パン、お菓子、各種飲み物を用意しました。



さて3チームの順位を予想して下さい。
はい、それでは結果です。

1位 高3チーム 3時間11分27秒



2位 生徒・保護者チーム

3時間13分39秒



3位 コーチチーム 3時間 14分 29秒



高3チーム、女子は1周で男子が3週走る作戦が功を奏しましたね。

昨年 **TEAM GAKUSHISHA** の蛍光色のビブスを作りました。今年もそれを着て走りました。「学志舎 魂」いいでしょ？



岐阜県で数多く塾はあれど、この時期に受験生がこんなイベントに出るって、学志舎くらいだと思います。

もちろん、参加した高3生は、終わってからみんな、育真館の2階で夜遅くまで勉強です。最後に帰った生徒は23時でした。遅いでしょ。必ず彼らは結果を出すと思っています。

それと汗で濡れた「タスキ」の意味を感じる生徒が必ずいます。

一人でもリタイヤすればゴールはありません。全員でタスキつないで、最後の100mはアンカーと共に全員でゴールテープを切るのです。

そして最後にみんなで握手をして一人一人に感謝をします。

これが **TEAM GAKUSHISHA** のリレーマラソンです。

さて、岐阜大学医学部2年の河合コーチも、高3生の時に参加しています。

2年前を思い出してもらって感想を書いてもらいました。

皆さん、学志舎のイベントに参加していますか？

僕は高校三年の11月に、木曽三川公園で行われたリレーマラソンに参加しました。最初は受験前の大切な時間をイベントに割いてもいいのか？と、思っていました。しかし、学志舎で一緒に勉強していた同級生のみんなに誘われて参加してみると、とても楽しくて、久々に刺激的な時間を感じました。肉体的な疲労感は残りましたが、気持ちがいまぐれリフレッシュされて、帰ってからは勉強に対してやる気がみなぎりしました。

受験期の息抜きの仕方は人それぞれです。僕は、学志舎のイベントのように、友達と楽しい時間を共有することを息抜きにしていました。そのために、家での時間の使い方について考え直しました。特に目的もな

いのに携帯を触っている時間、だらだらとバラエティー番組を見てしまっている時間が生活の中で1, 2時間あります。これらの時間を勉強にあてることで、高校生のうちにしかやれないことを思う存分やったのです。

3年生の体育祭で応援団もやりました。大切な夏休み、練習で時間を取られるので、親には大反対されたのですが、時間の使い方を意識して勉強を怠らない姿をみせることで納得させました。そして、勉強以外ものに時間を使うということで、良い意味で焦りやプレッシャーを感じ、より勉強への意欲が高まりました。限られた時間の中でやりたいことをするには、何かを犠牲にしないといけません。どうせなら日常では味わえないことに時間を使ってみませんか？学志舎ではいろんなイベントが開催され、非日常を体験できます。是非、これらのイベントに参加することで自分の時間の使い方を見直し、かつ、気持ちをリフレッシュさせて欲しいです。

河合コーチありがとう。
親に反対されていると、6月の懇談前に河合君から相談を受けた事務長、彼に言いました。

「心残りがないように思いっきりやれば。そのかわり、応援の練習で時間を取られて、成績が下がったなんて絶対にないようにね。言い訳にしないこと！」
その後の懇談会で、彼のお母さんは心配

して「運動会の応援をやらせていいものか」と話を切り出しました。
そんなやり取りの後でしたので、事務長は間髪いれずに言いきりましたね。

「本人のやりたいようにさせてあげて下さい。やらなかったら彼はずっと後悔すると思います。確かに時間はとられるかもしれませんが。でも彼ならその分、必ずどこかで取り返して頑張れると思います。何かが（障害）あるから何かができないじゃなくて、何があってもそれを乗り越えていくような人間になってほしいじゃないですか。彼ならやれると思います。J君を信じてあげて下さい。」

一息置いてお母さん笑顔で

「そうですね、事務長の言うように息子を信じて、見守ります」

横で聞いていて、鳥肌が立ちました。
人間、信頼されると力を発揮できるような仕組みになっているんですよ。

「大丈夫か？」と疑われていては、いつまでたっても力を発揮できないものです。
大学に合格後、彼と挨拶に来たお母さん、こう言いました。

「懇談以来、この子を信じて、勉強に関しては何も言わないことにしました。そして健康管理だけ気をつけました。」

後期中間試験

各学年とも平均点は上がりましたが、残念ながら塾としての目標は達成できませんでした。「道頓堀」は期末試験に持ち越しです。

それではUP率ベスト3の発表です

1位 長良中1年 S.Y君

UP率31%

2位 岐阜西中1年 T.Hさん

3位 岐阜中央中2年 A.K君

ではY君の感想をどうぞ。

僕は4月から6月まではミスがたくさんあり、ハンコも5個や7個ほど押されていきました。しかし「OK学習法」を真剣に取り組むことで、ミスも減り自らの間違いに気づくことが出来ました。それで、7月、8月にはハンコが3~4個に減りました。

そうするとテストの点も20点くらい上がりました。さらに9月、10月、11月では数学では一発OK、その他の科目では2回でOKが取れるようになりました。

それで今回の中間テストでも、目標にはあと一歩及ばなかったのですが、上げることができました。家での学習量が増えると今まで覚えにくかった事柄が頭に入ってくるようになりました。これからもOK学習法で頑張って、目標点を取りたいと思います。

Y君ありがとう。ハンコの数が減るということは、そう、家庭学習が増えているという証明ですね！そのたびに点数は上がって行きましたね。

399点→419点→442点

おはぎ作り

12月20日、田植えをして刈り取ったお米（ハツシモ）でおはぎ作りをしました。

亀島コーチの学志舎通信を参照してください。

年越し勉強会

昨年、高3生5人の有志

で始まった「年越し勉強会」今年は高3生七人、高1一人、中3二人の合計10人が参加しました。本当は19時からでしたが、もう朝から昼からずっと頑張って、そのまま夜に突入。

11時過ぎに差し入れのインスタントの天ぷらソバを食べて流れ解散。



高校生は伊奈波神社へ初詣でに行くのに、ちゃっかりと、山田コーチと清水コーチを呼び出しました。
そうです、出店のスポンサーとして(笑)



集合写真はなぜかウルトラマンのポーズ

同窓会

1月4日、これまで卒業していった大学1～4年生に連絡をして同窓会を開催しました。

2時間余り、駅ビルの居酒屋で一杯やりながら、懐かしい話、今の話題に話が途切れませんでしたね。

これを機に大学部の立ち上げを決めていました。大学部と言うより、「山田塾」といった方がよいでしょうか。

卒業していった生徒に、私がチョイスした様々なジャンルのCDやDVDを送る。それだけです。

感想をくれるもよし、何もなくてもよし。ただ大学卒業にあたって、社会に出たら何がしたいのか、仕事を通じてどう社会貢献

をしていくのか、そんなレポート(山田塾卒論)を書いてもらう。

今春大学を卒業する、学志舎高校部2期生に卒業記念として贈る書籍を決めています。

鈴木博先生の「自分が源泉」。私のバイブルともいえる本です。



しかし、教え子と飲めるって、こんなに楽しいものなんですね。



塾をやっている本当に良かった！



4月の「花見」でまた集まって飲もう！

余談ですが、卒塾生同窓会に出られない旨、メールで返事をくれた卒塾生の中に、中京大学2年のJ.I君がいました。

彼は高校時代ラグビーをやっていました。高3の時に進路のことで揺れていた彼を連れて、夏休みの最後に豊田市の中京大学を見学に行った時のことを思い出しました。

帰りがけに突然の夕立ちで体育館の屋根の下で雨宿りをし、話をしました。

「J、大学で何がやりたい？」

「アメリカンフットボールがやりたいです」

「アメフトか、それええな。他には？」

「キャンパスを彼女と歩きたいです」

「彼女作って青春か？それもええな。来年絶対にそうなるな」

雨が上がった後、浅田真央ちゃんが練習をするアリーナを見学して帰りました。

今その通りに、アメフトをやっています。

去年は足を骨折して、棒に振りましたが、今年はディフェンスで頑張っているそうです。残念ながら青春の方はまだのようです（笑）

前置きが長くなりましたが、彼からのメールです。

「失礼します。J.Iです。」

1月4日の同窓会の件ですが、予定が入っているので、欠席でお願いします。

だいぶ遅くなりましたが、中学1年から高校3年までの約6年間大変お世話になりました。勉強だけでなく、人間性も磨かれた6年間だったように思います。

今思えば、塾長がよく話していた

『頼まれごとは試されごと』

という言葉は今になってようやく分かりました。学志舎で教わったことをいかして、勉強や部活を頑張っていきます。ありがとうございました。」

何があったんだろう？

彼に電話をしました。

コンビニでアルバイトをしている時に、「ああやれ、こうやれ」と先輩アルバイトによく言われていたそうです。そのたびに「めんどくさいな、人に言う前に自分でやれば？」と思いながらイヤイヤながらやっていたそうです。イヤイヤやって、いい仕事ができるはずがありませんよね。

ある日のこと、言われた瞬間、

『頼まれごとは、試されごと』

の言葉が頭にふと浮かんだそうです。

「あ、いかん！」と思い、それから「そうですか、あなたは僕を試してますね？いいでしょう。あなたの予想を上回ることをやりますから、びっくりしないで下さいよ！」

という思いで仕事をしたそうです。その後どうなったのかは想像つくでしょ？

そう、店の中で一番仕事ができる学生として、店長から頼りにされるようになったそうです。バイトリーダーですね（笑）

「頼まれごととは試されごと」

この言葉は、学志舎が毎年4月に実施しているイベント「中村文昭氏DVD鑑賞会」に参加した方はおわかりでしょう。氏の4つの言葉の中の一つです。



彼が「中村文昭氏 DVD 鑑賞会」に参加したのは中3の時です。4つの言葉は、塾生証の裏にもプリントしていますよね。私も生徒達に時として言います。

それが、ふとしたきっかけで彼の潜在意識の中から蘇ったのです。

彼はこれから社会に出ても、周りの人から頼りにされる人間として、ずっと生きていくことでしょう。

これが中村さんの言う人間力です！

社会に出たら偏差値だけでは生きていけないんですよ。いかに周りの人に可愛がってもらえるか、協力してもらえるか、助けてもらえるか、中村さんはそれを講演の中で言っています。彼ならきっと他の3つの言葉も実行していると思いますよ。

「返事は0.2秒でハイ」

「できない理由は言わない」

「今できることからする」

彼のメール本当にうれしかったですね。思わず電話をして、以上のことを聞きました。

育真館 2F 自習室完成

高校生には不便をかけていました。2F東側の物置になっていた部屋を改装することにしました。まずは駐車場にスチール製の大きな物置を購入。そこへ荷物を運び出しました。

そして12月に改装工事をして、個別ブースを購入。23日に周藤・増田コーチと高3生に手伝ってもらいブースを作り完成しました。



また、1F のトイレもきれいに改装し、便座もウォシュレットにしました。生徒たちには好評です。

しめて200万円也。

お金は出口が大切だといいます。

お金はお金が喜んで出て行くところへ使かって初めて意味をなします。皆さんの授業料、特別講習会費、諸経費からいただいたお金で毎年何らかの新しいことやイベントなどができます。

講演会など、講師の費用、旅費・宿泊費を含めてウン10万かかります。

塾仲間は言います。

「山田先生、講演会やってもお金がかかるだけです。残せばいいじゃないですか」しかし、何かを感じて変わってくれる生徒がいる限り、私は続けます。保護者の方の中にも、講演会の度に「聞きに来てよかった」と感想を下さる方がいます。そんな言葉が続けることへの励みになります。

「心」が大切である、「知識」は「心」によって活かされるという、私のポリシーは変わりません。

イベントの費用は「ボランティア清掃」以外ほとんど持ち出しです。塾のセミナーに行くときよく聞きました。「大手塾のイベント（特に合宿）」は費用の6割は利益です。中小塾の方々は、トントンか持ち出しでイベントをする方が多いです。利益の出るように金額設定をしてください」と。

我々の様な中小塾では、大手の様な利益の出るような金額は取れませんから。

先日事務長はうまいこと言っていました。「うちの塾はいっぱい地雷を撒いてあるんだからね。踏みに来ないと爆発しないよ！」

どうぞいい意味での「爆発」をしてください！

学志舎は日本一イベントの多い塾です。

◆四方山話◆

勉強会・研修会より

9月から半年間、塾の塾へ通いました。大阪へ5回と東京へ1回勉強会へ。

その中で、国語力アップには語彙力が必要だということを再認識しました。現在の「ことばの泉」をパワーアップします。

16日、東京で導入研修を受けてきました。

本を読んだ後に内容を問うプリントがあります。また語彙力を試すプリントも。

半年に一回4つの全国テストがあります。

Aテスト 推定語彙数診断

Bテスト 学年語彙数診断

Cテスト 分野別語彙数診断

Dテスト 読書速度診断

速読・速聴の結果が数値としてはっきりと現れます。

国語力をつけるには読書が欠かせないといひます。しかし、語彙力がないといくら

読書をして、国語力アップにつながりにくいのです。

例えば

「大きな天と地との間に一人の母と一人の子とがその刹那に忽如として現われ出たのだ。」（有島武郎・「小さき者へ」から）
この文章で「刹那」（瞬間・短い時間）と言う意味を知らずに読むと、母と子が「刹那」という場所に現れたようにもとれます。それではこの文章の内容が正確にはつかめませんね。

この様に、語彙力がないと、文章を読んでも問いには答えられないケースがしばしば出てきます。数学の問題なども、語彙力・国語力がないために解けないケースをずいぶん見てきました。

4月から「ことばの泉」ではプリントで速読した本の内容を確かめながら、解からない言葉を辞書引きして調べます。
1年生から中学生まで幅広く活用できます。自信を持っておすすめします

！

えどがわく東京で16年前から速読を取り入れている、S先生は速読を受講している生徒に、知能テストをしていたそうです。2〜3年きちんとやれば、ほとんどの生徒のIQが上がるそうです。最高13上がったそうです。IQが13上がるってすごいことです。

学志舎と全く同じ、本を実際にめくりながらの速読速聴です。

S先生の塾は私立中学・公立中高一貫

校の受験専門塾です。A区でNo.1の実績を上げています。

小学校の1〜3年までは、この語彙力強化を中心とした速読速聴の授業のみです。4年生から始まる受験勉強の基礎は「国語力」だと断言されています。

そして「速読速聴+語彙力」は全塾生に履修してもらっているそうです。

10月の懇談会で紹介しました「長所ノート」の実行と「速読速聴+語彙力の徹底履修」、これが地域ナンバーワン塾の大きな秘密でした。

さて、パズル道場にもその気配があります。10月、研修会に事務長と参加しました。



その席で開発者のSさん「調べては無いのですが、私の感覚ではこのパズル道場は、IQが上がりますよ」

脳味噌の中に手を突っ込んでかき混ぜるような問題群。科学的根拠はありませんが、私も直感でそう思いました。

4月から、家庭でネットを使って復習をする「NEWパズル道場」に移行します。さらにパワーアップするパズル道場にご期待下さい。

11 月に名古屋での研修会に参加してきた「デビットセイン英語ジム」ですが、1 月から全員「家庭内会話バージョン」に移行しています。これは今までのレギュラー講座から、家庭内で使われる会話を抽出して特化したバージョンです。3 月いっぱいまで、これをやって、通常の会話は覚えてしまいましょう。

今後このような何かに特化した特別バージョンが出るそうです。そのたびに切り替えて、集中的に覚えてもらうことにします。

9 月からの半年間の塾の塾の勉強会、最後にすごい情報が入ってきました。その説明会に出席するために 16 日（月）事務長と上京しました。

前述の A 区の S 先生がある協会とコラボをして、生徒と親さん用のセミナーを用意したのです。「記憶術と考え方」

協会を主宰する会長直々の説明会は説得力があり、衝撃的でした。



会場を埋める親さんに「どなたでも結構ですので、挙手の上何かの名前を言って下さい」

最初に手を挙げた方は「青汁」と言いました。会長は「1 番目、青汁、ハイ入りました」私も参加すべく 6 番目に手を挙げて「零戦」と言いました。「昨日 TV で“永遠の 0”を見ましたね？6 番目、零戦、ハイ入りました」そんなかんじで次々と 30 人が何かの名前を言った後です、会長はすぐさま 1 番から 30 番まで順番に復唱したのです。それだけではありません。「誰か番号をリクエストして下さい。何番目でも結構です。」一人のお父さんが挙手し「21 番」、即座に会長は「日記帳」。その後も何番目でも間違えることなく答えました。そして言いました。「頭の良し悪しはありません。誰でも出来ます。普通の人は頭の使い方が分かってないのです。またストッパーをかけているんです。東大へ行く生徒は頭の使い方を知っているだけなのです。ただ、素直でないとだめですね」

S 先生の塾では、翌日から卒塾した子にも受けさせてもらえないか、夫婦で受講させてほしいとか、電話がバンバン。

先日塾が終わった後、この話をしていたら、なんとうちの西野コーチ、これの初級講座を名古屋で受講していました。彼女は簡単に 100 個を覚えたそうです。

私はこれを実証するべく、初級講座と上級講座を 5 月に受講します。そして出来るならば、もう一つ先に挑戦することを考え

ています。相当難しいと聞いていますのでどうなるかは分かりません。このセミナー内容をどのように塾に取り入れるかは思案中です。

しかし、みなさん、10分で100個くらいのことが簡単に覚えることができるようになったらどうですか？大きな武器になるのは間違いありません。

私の今年度の挑戦です。

◆編集後記◆

1月4日の同窓会で、高校部2期生のK君に、25日に勉強会で上京する旨を伝えておりました。そして26日10時半、東京大学正門前で待ち合わせ。彼に学食へ連れて行ってもらい、お薦めメニューを頼みました。それは「赤門ラーメン」。



坦々麺、辛くないバージョンとでも言えばいいでしょうか。辛いのが苦手な私は、美味しく頂きました。そしてキャンパスを歩き赤門へ。東大のキャンパス広くて建物はシックで、銀杏並木がステキでした。散歩する老人、ジョギングする人、学生だけではなくいろんな人がいましたね。



食後、彼のおススメの喫茶店へ行き、自家製アイスとコーヒーを頼みました。

彼は聞いてきました。「塾長、撮った写真は何に使うんですか？」「ニュースレターやよ」「えっ銀道（銀色の道）に載せるんですか？」とニコニコ顔。

実は彼、在塾中「銀色の道」を楽しみにしてくれてたんです。「塾長、次の銀道はいつ出るんですか？」と催促されたのは、後にも先にも彼だけです。卒論のこと、院のこと、私事など、話は尽きませんでした。授業があるので1時過ぎに彼と別れて岐阜に帰ってきました。

さて、HPをリニューアルします。皆さんの中で、HPに載せる動画に出演してくださる方を募集します。5つほどの質問に答えていただければ結構です。ご協力をお願いできる方はメールでお知らせください。よろしくお願いいたします。

アワード、日にち変更で申し訳ありません。皆さまのご来場を、心よりお待ちしております。今回も最後まで読んで頂き、有難うございました。